

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)特別養護老人ホーム 絆の家うまこし 中央区 本馬越2丁目953他 第1種住居地域、防火地域指定なし 病院, 2015年2月 予定 3,509.33 m ² 1,248.17 m ² 3,427.65 m ² 地上 3F RC造 実施設計段階評価 2014年6月25日	
---	---	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46.0}{41.3} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価アイコン	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	2.9		バリアフリー	Q2.1.1.3 3.0
			維持管理	Q2.1.3 3.0
			更新性	Q2.3.3 2.8
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.2		耐震・免震	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 3.4
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	LR1.1 4.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7		節水	LR2.1.1 4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4 3.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全・創出	Q3.1 2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 3.0
7. 新潟のまちらしさへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- バリアフリー新法を満たしている。維持管理は、標準的な配慮を行う。構造部材を痛めることなく修繕できる。
- 基準法を満たす耐震性を有する。非常用発電機を採用する。通信手段の多様化を図り、浸水の恐れがない。
- 雨水流出抑制対策を行っている。
- 自然エネルギーの直接・変換利用は行っていない。
- 節水コマを使用した水栓と省水型機器を採用している。路盤材にリサイクル材を使用。躯体と仕上げ材が容易に分別可能な再利用を考慮した建材を使用している。
- 外構緑化指数=10.9%、建物緑化指数=4.17%、空地率=67.17%、水平投影面積率=10.89%、緑地・水面等面積率=8.74%、舗装面積率=65.22%
- 建物高さ、壁面位置等において周囲への圧迫感の軽減を行っている。敷地周囲をネットフェンスとし、防犯に配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム 絆の家うまこし	階数	地上 3F
建設地	新潟県新潟市中央区	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、防火地域指定なし	平均居住人員	122 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 予定	評価の実施日	2014年6月25日
敷地面積	3,509 m ²	作成者	今西良一
建築面積	1,248 m ²	確認日	2014年7月1日
延床面積	3,428 m ²	確認者	(株)たなか建築設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (120 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 78% (92.4 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 78% (92.4 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 78% (92.4 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 省エネルギーや耐久性を考慮して、地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和に努めている。		その他
Q1 室内環境 断熱性能の高い外壁材の使用、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に努めている。化学汚染物質にも配慮している。	Q2 サービス性能 耐用年数の永い材料を使用している。災害時に部分的な設備機能が維持できるよう非常用発電機を設置している。	Q3 室外環境(敷地内) 建物周囲と屋上に緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。
LR1 エネルギー 高効率エアコン、LED照明の採用で設備システムの高効率化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 節水器具や省水型機器を採用し、水資源の保護に努めている。分別が容易な施工方法の採用により、資源の大量消費を防ぐようにしている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ を削減し、地球温暖化防止を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される